



# 臨床試験に参加して頂ける 赤ちゃんを募集しています!



早くから腸内細菌製剤（整腸剤）を飲ませること、あるいはアレルギーを起こしやすい食物を少量ずつ食べさせることが、食物アレルギーの発症を予防するのではないかと、ということがわかってきました。しかし、整腸剤と微量の食物の早期投与のどちらが有効なのかはよくわかっていません。このため、私たち小児科医のグループは、赤ちゃんに整腸剤だけのパウダー、あるいは整腸剤に微量の食物を混合したパウダーのどちらかを食べていただき、どちらが食物アレルギーの発症予防に有効なのかを調べることを計画しています。

★試験に参加いただける方  
生後4か月までで、湿疹が目立つ赤ちゃん

★アレルギーの詳しい検査を臨床試験の最初と1歳前後で行います。

★パウダーの服用期間  
離乳食を開始するまで、12週間服用してもらいます。

詳しくはスタッフまでお声がけください♪



第27回 日本外来小児科学会に  
参加してきました。

**日本脳炎ワクチン供給不足について**  
供給量が十分でない状況が今後もしばらく続くと予想されます。  
安定供給に戻るまでの間、**日本脳炎ワクチン未接種の方**を優先に接種させていただきます。ご理解、ご協力の程お願いいたします。



毎年3000名近い参加者がある大きな学会で、今回は三重県津市で開催されました。

「多職種の限らない連携にむけて  
—リエゾン（連携）—」がテーマで、ワークショップや学術発表、シンポジウムが中心となります。

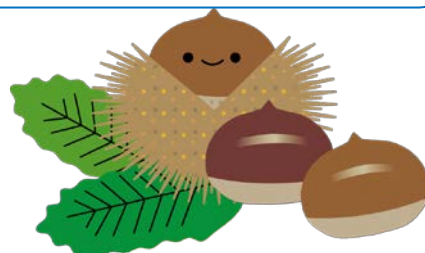
院長とスタッフ4名で参加してきましたが、参加後はそれぞれが学会で学んだ事をレポートにし、スタッフ全員が共有できるよう勉強会を行っております。

# 東京家政大学子ども学部の保育実習が当院で行われました。

実習を終えた感想を頂いたので、一部ご紹介させていただきます♪

実際に子ども達と接し、保護者の皆様のお話をうかがったりする中で、親が仕事を続ける上で子どもが病気になった時に預け先がなく途方に暮れる現実や、現場で働かれている先生方の連携を知り、病児保育室の必要性和責任を改めて感じました。そして、保護者の方が気軽に子どもの病気について相談できる場であることも伝わり、更に病児保育室の必要性を実感しました。

診察を待つ子ども達の不安を少しでも和らげ、待っている間も楽しく過ごせるよう待合での援助をすることも保育者の大切な役割だと感じました。



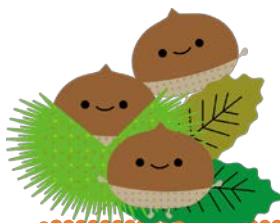
## 【 しろくまちゃんのほっとけき 】



しろくまちゃんが、お母さんと一緒にホットケーキを焼きます。フライパンの中に材料を流し入れてから、ホットケーキが出来上がるまでの様子が一つ一つ楽しく描かれています。日常のちょっとした出来事の中に楽しさを感じられるお話だと思います。

著 わかやま けん

保育士 田村 智子



## 今号のスタッフ一言日記

秋は、食べ物がおいしい時期ですね。私が小学生だった頃、運動会のお弁当に栗が入っていたことを思い出します。今は、毎年実家から栗が送られてくるので、その連絡がくるのが待ち遠しくて・・・今年は何を作って食べようか子どもたちと相談です。

保育士 吉岡 美紀